

「守屋山・経ヶ岳山行報告」

- (山 域) 南アルプス北端・中央アルプス北端
(コース) 立石 R 登山口 (駐車場) ~ 浅間の滝 ~ 守屋山東峰 ~ 西峰 ~ 森林浴守屋山コース ~ 駐車場
大泉所ダム登山口 (駐車場) ~ 四合目 ~ 経ヶ岳 ~ 四合目 ~ 駐車場
(日 時) 2019年9月14日(土) ~ 15日(日)
(天 候) 快晴
(参加者) 菊池(CL)、菅井、高山、秋山(記録)
(行 程) 14日 04:00 千葉出発 ~ 7:40 立石 R 登山口 (駐車場) ~ 08:50 浅間の滝 ~ 09:40 守屋山東峰 ~
10:20 守屋山西峰 ~ 10:56 東峰手前分岐 ~ 11:58 鳥居・森林浴コース分岐 ~ 12:20 駐車場
15日 06:00 キャンプ場 ~ 6:30 大泉所ダム登山口駐車場 ~ 06:50 登山口 ~ 08:10 四合目 ~
11:05 八合目 ~ 12:05 経ヶ岳 ~ 13:00 八合目 ~ 14:50 四合目 ~ 15:50 駐車場

○その他情報

- (駐車場) 守屋山：R152 杖突峠守屋山登山口駐車場から南へ 1.3 km。約 6 台。簡易トイレ 1 台有。
経ヶ岳：大泉所ダム登山口先。約 8 台。トイレ有 (男女各 1)。
(宿泊地) ながた自然公園テントサイト、テント 1 張 2,000 円。600m 降ったところにコンビニ有。
(温 泉) ながたの湯：ながた自然公園隣。テントサイトから徒歩 10 分。大人 500 円。
露天風呂、シャンプー、リンス、ボディーソープ有。
大芝の湯：信州大芝高原内。経ヶ岳登山口 P から町方面へ約 15 分。大人 500 円。
露天風呂、リンスインシャンプー、ボディーソープ有。

(山行報告)

8月の残暑のころ、Kリーダーから初中級者向けの山行公募がメーリングリストに流れた。それもなんと一気に3件だ。うち当該山行の日程がちょうど仕事の休暇が取れたので、すかさず手を挙げた。

しかし、ん、ちょっと待って。守屋山・経ヶ岳ってどこだろ???

公募メールを見返すと、

「守屋山：山岳宗教と関りが深く諏訪大社上社本宮の神体山で、守屋信者の奥社が鎮座する山である。奇岩・大岩を楽しみながらの森林浴、山頂は360度の大パノラマです。

経ヶ岳：中央アルプスの最北端の200名山である。麓の古殺・仲仙寺から往復し、7合目から白山、御岳、木曾駒岳、南アルプス、八ヶ岳などの展望が開ける。」



亀石



立石

とあった。どちらも古くからの歴史があり山からの眺望も期待できそうだ。

そして、会の山行にあまり参加できない筆者にとっては、新たな方とお会い出来ることが何よりも嬉しいことだった。

今回集まったメンバーはSさん、Tさん。筆者はリーダーとSさんとは初見で、Tさんとは8月の蝶・常念でお会いして2回目、お互いに新人である。

出発当日は3連休の初日、4時頃に千葉を出て高速の渋滞も無くスムーズに進み、双葉SAで朝食を手短に済ませたて諏訪ICで高速を降りた。

国道152号へ入り南に約10km走らせると杖突峠に出て、この付近に守屋山登山口駐車場があるが、今回はその先600m程下った左側にある駐車スペースに車を停めた。

メンバーは準備を済ませて早速スタートし、国道を少し上に戻ると立石コース入り口の標識があり、そこから入っていった。

この日は快晴で雲もほとんど無い。ひんやりとしていてすっかり秋山の様相だ。涼しげな樹林帯を歩いていると手作りの看板が出てきた。「登山道は地域人がボランティアで作り整備しています。山野草を守るために登山道以外には入らないでください。」とのこと。無論承知。

更に少し上がるとまた看板で「立石コースはあいさつ登山道です。おはようございます。こんにちわ。元気に明るく楽しい登山を」とのこと。まだすれ違った登山者はいないが、すれ違った時には勿論そうしよう。

この辺りから色々な奇石を見ることができ、最初に現れたのは「亀石」だった。大きな岩の上の端に小さい石が乗っていて、小さい石を頭に見立ててなるほど亀であった。更に進むと立石が現れる。看板には「里の人達がお坊さんに見立てて朝夕に家内安全や世の平和を祈ってきた」とあった。少し大きい岩だと思った程度であったが、登山道を進んで振り返って立石を見ると崖の斜面に縦に長い大きい岩で落ちそうで落ちないものだった。

その先も百畳岩、鬼ヶ城頭岩、夫婦岩、屏風岩、鬼ヶ城といった奇石を見ながら進み、その先に浅間の滝が現れた。残念ながら滝には僅かな水しか流れていなかったが、傍らに小さい祠があり、富士山の祭神である木花開耶姫（このはなさくやひめ）が祀られているとのことだった。

後で木花開耶姫について調べたところ、日本神話に出てくる国津神で竹取物語のかぐや姫のモデルにもなったとの話しも。また初代神武天皇の曾祖母にあたり、富士山本宮浅間大社や約 1300 社の浅間神社の御神体として祀られているとのことだった。

そこから先は少し斜度が出てきて、一休平・息切れ坂・胸付き八丁を過ぎ守屋山東峰に着いた。



空には雲一つなく北に諏訪湖、東にヤツ、南に南アルプス、南西から中央アルプス、西から北へ北アルプスと 360 度見渡せる。



看板には日本展望の山 100 山とあり、なるほど大きく頷かされる。



メンバーは一通り写真を撮り終えて西峰へ向かうと、直ぐ降ったところに守屋神社奥宮があり、社は何故か鉄格子で囲われていた。

更に 20 分程進むと小屋が見えて来て、看板にはラビットハウスと書いてあり、中を覗くと守屋山に咲く季節の花の説明や登山者ノートなどがあり中もとても綺麗に使われていた。その近くには保全畑があり、花が沢山咲いていた。

そこから西峰は直ぐだった。こちらの方が標高が高いはずだが、一部木で遮られていて眺望は東峰の方が良かったかも…。しかしそれは東峰のそれが良過ぎたからの贅沢であって景色はとても良かった。

山頂で翌日立山に行くと言うペアが居て、先輩方が談笑とアドバイスをした後に下山を始めた。下山は東峰手前まで戻り別ルートを下っていく。

途中の奇石や変わった木を見ながら降り、鳥居が見えてきた。その直ぐ下から左に入り森林浴コースに入る。道はなだらかで気持ちが良い森歩きをし、歩道に

出て駐車場へ戻った。

下山後は車を南に走らせ、高遠を回って伊那を北上して行き、この日の宿泊地である「ながた自然公園」へ着いた。フリーテントサイトの受付が16時までであったが、余裕を持って着くことができた。

休日にも関わらずキャンパーが少なくスペースが沢山有り、バスポジにテントを張った。その後600m下にあるコンビニで夜に飲むお酒を買い、それをテントに置き、今度はキャンプ場隣の「ながたの湯」へ向かう。

隣りと言っても徒歩で10分程あり、真夏であれば帰りもまた汗をかくであろう。しかし、この日は涼しかったので行きでも汗をかくことはなかった。

お風呂は500円と良心的。施設はとても綺麗で、露天風呂・サウナ・水風呂にシャンプー・リンス・ボディソープがあり、関東であれば1,000円は取られるレベルである。

汗を流したメンバーは施設内の食堂に集まり反省会だ。と言っても満点の初日に反省することもなく、ただの夕食がてらの宴会で、山の話や冬の活動の話などを教えて貰った。喉を潤しお腹も満たされた後、食堂の畳で仮眠を取った。その後テントに戻ったころには暗くなっている、サイトでは

数グループの家族連れで賑わっていた。テント内で二次会をして、色々な話しをし、その内に飲み物が無くなってお開きとなり、子供達の元気な声を聞きながら眠りに落ちていった。

翌朝先輩方は早くから動き出し、お湯を沸かし始めた。遅れまじと片付けを済ませて朝食を取った。早々に撤収を済ませ06:00キャンプ場を出て経ヶ岳登山口へ向かう。

途中、朝日、蕎麦畑、川と経ヶ岳、秋桜等が綺麗で映える風景を撮影するのに何度も車を停めた。

大泉所ダム脇の駐車場で着くと先客が数台と、マイクロバス。ん、マイクロバス？

運転手さんから、東京からの団体で13名が30分



朝の撮影会

程前に出発したとの事だった。



ながたの湯でお風呂と生ビール！



駐車場からスタート



車道を少し戻った登山口からスタートし、2合目までは林道歩きで、2合目の橋を渡ってから本格的な登りが始まり、4合目で仲仙寺からのルートと出会う。そこから5合目までは笹漕ぎが多くなり、細い道の斜面を覆ってる箇所もあり気を付けて進んでいった。

5合目は少し広がっていて休憩できるベンチもあった。

その先から尾根道になり涼しい風を受けながら進み、7合目からは遠くの山がチラチラと見え始める。

そして8合目に着くと素晴らしい景色が広がり、左に木曾駒、後ろを振り返ると南アルプスやヤツが見えた。

8合目の先にお花畑がありヤナギランやマツムシソウなどが咲いており、近くにはアサギマダラが舞っていた。この辺りで13名の団体とすれ違った。話しによると新ハイの方達のようなだった。



8合目上の花畑に舞うアサギマダラ



フジノセンノウ トリカブト



ネタルアケボノ センシユカクンビ



ヤナギラン マツムシソウ

リンドウ アキノキノソウ

下山して冷たい水で顔を洗うTさん



そして9合目を過ぎようやく山頂へ到着する。頂上は森の中で展望はなく地蔵や石仏等が建っていた。ここで出発するところだった男性にお願いして記念写真を撮っていただいた。

帰りは行きのルートに戻り無事駐車場へと到着した。

下山後、経ヶ岳の麓にある仲仙寺に立ち寄った。こちらはとても立派なお寺で、ガイドによると慈覚大師円仁が経ヶ岳山中の霊木で十一面観音菩薩の尊像を刻み同寺に安置し、その切り出した木片に写経し経塚に納めたことから経ヶ岳という山名がつけられたそうだ。

仲仙寺を見学した後は町の方へ降り途中にある大芝の湯に立ち寄る。これも綺麗な施設で500円とリーズナブルだった。

帰りは諏訪湖SAで夕食を取り、車を走らせたが中央道の大渋滞にハマってしまった。渋滞箇所を運転して下さった方は大変お疲れさまでした。感謝感謝です。

帰葉した頃には日も変わり、帰宅後はアルコールを飲まずとも自然と眠りにつけた。

今回は2日間とも天気に恵まれ、南・中央アルプスの両北端のから素晴らしい眺望が見られ寺大満喫させていただきました。また、3連休にも関わらず静かにのんびりとした山歩きをすることができました。これもリーダーの山や宿泊地、温泉などのベストセレクトのお陰でした。大変ありがとうございました。

先輩方から足運びのアドバイスをいただき、翌日にダメージも残らずに当直勤務をこなす事ができました。また機会がありましたらご同行させてください。どうもありがとうございました。

(追記)

守屋山はザゼンソウが有名で花の百名山となっているようで、高遠の桜時期にセットで行くのも良さそうです。また、経ヶ岳では長野県のレッドデータリストのササユリが咲くそうなので、その時期にも訪れてみたいと思いました。

写真の花の情報はリーダーからいただきました。ありがとうございました。

